

令和7年度卒業証書授与式・修了証書・学位記授与式告辞

国立高等専門学校機構 都城工業高等専門学校

5年間の教育課程を終えられた本科5年生の皆さん、それから、専攻科の修了と同時に学士の称号を得られた専攻科修了生の皆さん、それぞれご卒業と修了おめでとうございます。

また、今日までご子息ご令嬢様の成長を見守られましたご家族、保護者の皆様にも、心よりお祝い申し上げます。

そして、ご列席いただきました本校後援会長の有馬政彦様はじめご来賓の皆様には、ご多忙な中、誠にありがとうございました。

卒業生並びに修了生には、本日が人生の新たなステージへ向かう旅立ちの日です。どうか、国立高専機構 都城高専を卒業、あるいは、修了したことに誇りと自信を持って、そして、これまでお世話になった方々への感謝の思いを胸に、これから先の人生を邁進してください。

さて、私は、昨年末の終業式で、校長室の窓際にある「幸福の木」ドラセナが花を咲かせたことをお話ししました。そして、皆さんに、本校で過ごす時間は花を咲かせる準備の期間として根を深く広く張る努力をしてくださいと話しました。本日、そうした研鑽の日々を終えられた皆さんですが、それでも、今はまだ皆さんは周囲の人々を幸福にする「幸福の木」の“苗”のようなものかと思いません。これから社会に出ても、あるいは進学しても、しばらくは開花できないかも知れません。しかし、無理して咲かせようとするのではなく、花開くその時まで、しっかりと自らの強みとなる知識や技術を深め、徳を積み重ねてください。急ぐ必要はありません。地道に毎日の学びを続けてください。

「学問の大禁忌は作輟なり」と言います。学問は、やったりやめたりするのは無く、必ず継続しなくてはいけませんということですが、その努力の結果として、自ずと社会から信頼される人、周囲の人々を幸せにできる人、つまり、「大きな幸福の木」に育っていきます。

また、私は、折に触れ「志」の大切さをお話ししてきました。目標に向かって生きる時、様々な苦難を乗り越えるために必要なのが志です。大きな壁や障害によって心が折れそうになった時、何故、何のためにそれをやろうと心に決めたのか、その原点にあるものが志です。

皆さんは、本校で知識や技術を身につけました。それらは、確かに皆さんが社会で活躍するため、あるいは、生きて行く上で皆さん自身の財産となっています。ぜひ、それらの知識や技術を活かしてください。しかし、社会で活躍し生きて行くには、これらに加えて、人としての徳とか仁とか、あるいは、誠実さや思いやりといった情緒や感性が大切です。本校で過ごされた時間の中でもクラスの仲

間やクラブ活動で人間関係を築いてこられたかと思いますが、社会ではもっと人間関係は複雑で、且つ、大切です。

どうか、これからの人生では、また、さらに高みを目指して歩み続けてください。高いところに登るほど酸素が薄くなり辛くなるのが登山ですが、しかし、高い所に登るほど、より広大な世界を見渡すことができます。人生にも似たようなところがあります。

社会人として大切なことは、まず、人として信頼を失わないこと、自分自身を高め続けること、そして、これは大切と思ったら『要は実践あり』、自ら行動することです。

皆さんの大いなる飛躍を、そして、ご家族の皆様のご多幸を心より祈念して、お祝いの日の告辞といたします。

令和8年3月12日

独立行政法人 国立高等専門学校機構

都城工業高等専門学校

校長 田村 隆弘